

# 野球部 初戦快勝！！



先発し好投する秋田修英・持主（撮影・佐藤究）



最後の打者を三振に打ち取り、秋田修英・伊藤（手前）とグラブタッチする持主（撮影・佐藤究）

日刊スポーツ

検索 メニュー

＜高校野球秋季秋田大会：秋田修英11－0羽後、仁賀保＞◇5日◇県南地区1回戦◇大曲球場

今夏の県独自大会8強の秋田修英が羽後、仁賀保連合を11－0の5回コールドで下し、2年ぶりの東北大会出場へ好発進した。

公式戦初先発の持主太陽投手（2年）が力のある直球とスライダーで2安打完封勝利。最後の回は3者連続三振で締め、計7三振を奪って見せた。持主は「回を追うごとに制球がまとまって、自分の投球ができた」と満足の表情を見せた。

1年秋に外野手から投手転向。元々の強肩と、投球フォームのバランスの良さが鈴木寿宝監督（57）の目に留まった。指揮官は「投手の経験は浅いけど、真っすぐを中心に投げてくれた」と合格点。持主も「長いイニングを投げきって、チームの勝利に貢献していきたい」と意気込んだ。

9月5日付

「日刊スポーツ」より

本校の初戦についての記事がスポーツ紙のネット版に掲載されました。ぜひご覧下さい。

## バドミントン1年生大会 加賀くん優勝

9月5日（土）にリリオスで行われた秋田県高体連県南支部バドミントン部会強化練習会（1年生大会）において、本校1年生加賀太陽くんが優勝、千葉馨くんがベスト4に勝ち進みました。県南新人戦の前哨戦となる今大会。出場した選手達には貴重な経験となったようです。加賀くんは「自分のプレースタイルをそのまま試合で出すことが出来た。新人戦は良い結果がでるよう頑張りたい。」と意気込みを語りました。